



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日

上場会社名 株式会社ラクス 上場取引所 東
 コード番号 3923 URL <https://www.rakus.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 崇則
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 戦略企画部長 (氏名) 松嶋 祥文 TEL 050 (8880) 3200
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期 | 11,608 | 32.8 | 1,174 | △20.0 | 1,177 | △20.1 | 799 | △21.5 |
| 2019年3月期 | 8,743 | 36.4 | 1,468 | 18.3 | 1,474 | 18.2 | 1,018 | 16.4 |

(注) 包括利益 2020年3月期 798百万円 (△21.6%) 2019年3月期 1,018百万円 (16.8%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 自己資本当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-------------------|------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2020年3月期 | 8.82 | — | 16.3 | 17.9 | 10.1 |
| 2019年3月期 | 11.24 | — | 24.5 | 25.9 | 16.8 |

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 ー百万円 2019年3月期 ー百万円

(注) 1. 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」を算定しております。
 2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年3月期 | 7,039 | 5,192 | 73.8 | 57.31 |
| 2019年3月期 | 6,142 | 4,593 | 74.8 | 50.70 |

(参考) 自己資本 2020年3月期 5,192百万円 2019年3月期 4,593百万円

(注) 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり純資産」を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2020年3月期 | 939 | △481 | △195 | 2,496 |
| 2019年3月期 | 1,120 | △463 | △141 | 2,236 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | | | |
| 2019年3月期 | — | 0.00 | — | 4.40 | 4.40 | 199 | 19.6 | 4.8 |
| 2020年3月期 | — | 0.00 | — | 3.20 | 3.20 | 289 | 36.3 | 5.9 |
| 2021年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 3.30 | 3.30 | — | — | — |

(注) 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2019年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載しております。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による影響を現時点において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2020年3月期 | 90,608,000株 | 2019年3月期 | 90,608,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年3月期 | 680株 | 2019年3月期 | 592株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2020年3月期 | 90,607,338株 | 2019年3月期 | 90,607,416株 |

(注) 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期 | 8,217 | 26.5 | 841 | △32.5 | 844 | △32.3 | 621 | △32.4 |
| 2019年3月期 | 6,495 | 3.0 | 1,247 | 0.0 | 1,248 | △0.5 | 919 | 2.8 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | 6.86 | — |
| 2019年3月期 | 10.15 | — |

(注) 1. 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」を算定しております。
2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|-------|--|-------|--|--------|-------|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | 円 銭 | | |
| 2020年3月期 | 5,732 | | 4,651 | | 81.1 | 51.34 | | |
| 2019年3月期 | 5,110 | | 4,227 | | 82.7 | 46.66 | | |

(参考) 自己資本 2020年3月期 4,651百万円 2019年3月期 4,227百万円

(注) 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり純資産」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2020年5月15日にアナリスト向け電話会議を開催する予定です。この電話会議で使用される説明資料については、TDnetで決算短信と同時に開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| 連結損益計算書 | 7 |
| 連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (セグメント情報等) | 12 |
| (1株当たり情報) | 15 |
| (重要な後発事象) | 15 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社が所属する情報通信サービス市場においては、人手不足や働き方改革の影響からデジタルトランスフォーメーションによる業務効率化を推進する企業が増加する等、IT投資への意欲は引き続き旺盛に推移しました。特に低コストで簡単に早く導入が可能で、便利なクラウドサービスへのニーズは強く、クラウドサービス市場の拡大が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは「高収益な複数サービスが生み出すキャッシュを成長サービスに集中投下」を経営方針に掲げ、2018年3月期を起点に、2021年3月期までの3年間で、CAGR(年平均成長率)30%の達成を目指しております。2020年3月期においては、クラウドサービスの導入ニーズが拡大する中、高い売上高成長を目指し、四半期ごとにPDCAサイクルを高速に回しながらマーケティング施策を組み替えて、減益になることも厭わず、積極的な成長投資を実行することを方針に掲げ、人員の積極的な増員とマーケティング投資の強化を実施してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は11,608,041千円(前連結会計年度比32.8%増)と高成長が持続しました。一方で高い売上高成長を目指して、減益になることも厭わず積極的な成長投資を実施したことから、営業利益は1,174,468千円(前連結会計年度比20.0%減)、経常利益は1,177,445千円(前連結会計年度比20.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は799,538千円(前連結会計年度比21.5%減)と減益となりましたが、CAGR(年平均成長率)30%の達成に向けて高成長が持続しました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

a. クラウド事業

クラウド事業は、高成長の実現のために新規受注件数の大幅増加を目指して、人員の大幅な増員やマーケティング投資の強化等、積極的な成長投資を実施しました。以上の結果、売上高は8,952,138千円(前連結会計年度比33.1%増)、セグメント利益は898,255千円(前連結会計年度比28.8%減)と増収減益となりました。

b. IT人材事業

IT人材事業は、これまで取り組んで来た離職抑制施策の効果に加え、顧客からの強い引き合いに対応するため採用数も増加させたことから、稼働エンジニア数が大幅に増加しました。3月には新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に伴う有給休暇取得増加による稼働日数減の影響がありましたが、売上高2,655,903千円(前連結会計年度比31.6%増)、セグメント利益276,213千円(前連結会計年度比33.6%増)と大幅な増収増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

a. 資産

当連結会計年度末における流動資産は4,413,311千円となり、前連結会計年度末に比べ744,713千円増加いたしました。これは主に、売掛金が424,006千円、現金及び預金が260,086千円それぞれ増加したこと等によるものであります。固定資産は2,625,874千円となり、前連結会計年度末に比べ151,518千円増加いたしました。主な要因は、のれんが163,795千円、顧客関連資産が73,600千円それぞれ減少したものの、工具、器具及び備品が297,959千円、繰延税金資産が83,055千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は7,039,185千円となり、前連結会計年度末に比べ896,231千円増加いたしました。

b. 負債

当連結会計年度末における流動負債は1,773,640千円となり、前連結会計年度末に比べ337,410千円増加いたしました。主な要因は、未払費用が118,694千円、未払消費税等が83,322千円、前受金が78,054千円、未払金が53,882千円、未払法人税等が31,423千円それぞれ増加したこと等によるものであります。固定負債は72,940千円となり、前連結会計年度末に比べ40,125千円減少いたしました。主な要因は、繰延税金負債が37,098千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,846,581千円となり、前連結会計年度末に比べ297,284千円増加いたしました。

c. 純資産

当連結会計年度末における純資産合計は5,192,604千円となり、前連結会計年度末に比べ598,946千円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が剰余金の配当により199,336千円減少したものの、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により799,538千円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ260,086千円増加し、2,496,086千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ収入が180,375千円減少し、939,925千円の収入となりました。増加の主な内訳は、税金等調整前当期純利益1,169,337千円、減価償却費219,801千円、のれん償却費163,795千円であり、減少の主な内訳は、法人税等の支払額458,164千円、売上債権の増加額348,005千円によるものであります。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ支出が17,431千円増加し、481,000千円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出424,911千円、無形固定資産の取得による支出25,602千円、差入保証金の差入による支出22,501千円等があったことによるものであります。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ支出が54,081千円増加し、195,932千円の支出となりました。これは主に、配当金の支払による支出199,148千円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響により、現時点で合理的に算定することが困難であるため、未定としております。

a. クラウド事業の状況

当社は国内の中小企業に対し、業務効率化に貢献する複数のクラウドサービスを提供しております。当社のクラウドサービスを導入することで電子化による業務効率化が図れることから、契約継続率が高く、利用中の顧客企業からの利用料金収入は安定しております。一方で、導入に至るまでの営業活動において、WEB広告の他、大規模な展示会等のリアルイベントを活用しておりますが、多くの人々が密集する展示会等の開催が延期や中止となっております。また、営業活動は顧客企業への訪問を中心としておりますが、顧客企業のリモートワークの増加に伴い、WEBを通じた営業活動を行っているものの、アポイント獲得の遅れや、顧客企業内における検討が遅れているケースが急増しており、新規受注の遅れが想定されます。緊急事態宣言が全国に発令されている状況のもとでは、顧客企業が通常業務に戻る時期を見通すことは現時点では難しく、合理的な新規受注の件数を算出することが困難であり、コスト面においても、展示会などのマーケティングコストが計画通りに消化できるか不透明であることから、合理的な売上高や各段階利益を算出することが困難な状況です。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、短期的にはアポイントの獲得や商談の遅れ、顧客企業内での検討の遅れ等から新規受注は前期比で減少する可能性があります。事態の収束により、商談の遅れや検討長期化が解消された後、中長期的にはリモートワークへの備えとして、紙で行っている業務の電子化（デジタルトランスフォーメーション）が加速すると見ております。

b. IT人材事業の状況

当社は未経験者を採用し、ITエンジニアに育成して顧客企業に派遣しております。足元ではリモートワークにも対応できており、育成期間中のエンジニアを除き高水準の稼働率を保っておりますが、景気の不透明感により、契約の更新や単価の変動について合理的に見通すことが困難な状況です。また、新たな派遣先に赴任する場合、一定の業務説明や情報共有が必要になりますが、顧客企業のリモートワークが長期化した場合、新たなエンジニアの受け入れが困難になることが予想されます。このような状況下では、育成が終了した直後のエンジニアや派遣先を変更するエンジニアの派遣契約の開始に遅れが生じる可能性が高いことから、合理的な業績予想の算出が困難な状況です。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大が落ち着きを取り戻すまでは業績の落ち込みも懸念されますが、中長期的には慢性的に不足するITエンジニアへの需要は旺盛であり、先行きの見通しは明るいものと見ております。

以上のことから、現時点で合理的な業績予想を算出することが困難であるため、当面は2021年3月期の連結業績予想を未定とさせていただきますが、合理的な算出が可能になりましたら速やかに開示いたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつとして認識しており、利益ある成長を達成するため、事業の展開及び経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、継続的かつ安定的な配当を実施することを基本方針としております。

剰余金の配当につきましては、業績の拡大に応じた適切な利益配分を基本として連結配当性向10%超を目安に実施し、さらに、原則として1株当たり年間配当金の下限を前年実績と設定することで、配当の継続性・安定性にも配慮した連続増配を実施してまいります。

上記方針に基づき、当期の配当につきましては、2020年6月に開催予定の定時株主総会決議を前提として、1株当たり3.20円の期末配当を実施する予定であります。

次期の配当につきましては、このような事業環境下ではありますが、安定性と利益率が高いビジネスを展開していることから、年間1株当たり3.30円の期末配当を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当連結会計年度 (2020年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,236,000 | 2,496,086 |
| 売掛金 | 1,262,534 | 1,686,540 |
| 商品 | 4,843 | 3,994 |
| その他 | 173,453 | 238,042 |
| 貸倒引当金 | △8,233 | △11,353 |
| 流動資産合計 | 3,668,597 | 4,413,311 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 123,546 | 123,192 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 198,261 | 496,220 |
| 有形固定資産合計 | 321,808 | 619,413 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,119,272 | 955,476 |
| 顧客関連資産 | 282,133 | 208,533 |
| ソフトウェア | 36,881 | 49,212 |
| 無形固定資産合計 | 1,438,287 | 1,213,222 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 40,000 | 42,016 |
| 差入保証金 | 354,725 | 337,203 |
| 繰延税金資産 | 319,221 | 402,276 |
| その他 | 6,793 | 19,999 |
| 貸倒引当金 | △6,479 | △8,257 |
| 投資その他の資産合計 | 714,260 | 793,238 |
| 固定資産合計 | 2,474,356 | 2,625,874 |
| 資産合計 | 6,142,953 | 7,039,185 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当連結会計年度 (2020年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 198 | 194 |
| 短期借入金 | — | 3,335 |
| 未払金 | 375,055 | 428,937 |
| 未払費用 | 317,298 | 435,993 |
| 未払法人税等 | 235,891 | 267,314 |
| 未払消費税等 | 142,334 | 225,657 |
| 前受金 | 291,251 | 369,306 |
| その他 | 74,199 | 42,901 |
| 流動負債合計 | 1,436,229 | 1,773,640 |
| 固定負債 | | |
| 長期未払費用 | 25,750 | 22,723 |
| 繰延税金負債 | 87,316 | 50,217 |
| 固定負債合計 | 113,066 | 72,940 |
| 負債合計 | 1,549,296 | 1,846,581 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 378,378 | 378,378 |
| 資本剰余金 | 308,028 | 308,028 |
| 利益剰余金 | 3,910,378 | 4,510,580 |
| 自己株式 | △285 | △404 |
| 株主資本合計 | 4,596,498 | 5,196,582 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 繰延ヘッジ損益 | △641 | 1,178 |
| 為替換算調整勘定 | △2,199 | △5,155 |
| その他の包括利益累計額合計 | △2,841 | △3,977 |
| 純資産合計 | 4,593,657 | 5,192,604 |
| 負債純資産合計 | 6,142,953 | 7,039,185 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 8,743,332 | 11,608,041 |
| 売上原価 | 2,989,348 | 3,945,847 |
| 売上総利益 | 5,753,983 | 7,662,194 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,285,275 | 6,487,725 |
| 営業利益 | 1,468,708 | 1,174,468 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 46 | 44 |
| 為替差益 | 4,804 | — |
| 助成金収入 | 670 | 2,602 |
| その他 | 266 | 648 |
| 営業外収益合計 | 5,787 | 3,294 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 10 | 57 |
| 為替差損 | — | 260 |
| 営業外費用合計 | 10 | 318 |
| 経常利益 | 1,474,484 | 1,177,445 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 183 | 124 |
| 投資有価証券評価損 | — | 7,983 |
| 特別損失合計 | 183 | 8,107 |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,474,301 | 1,169,337 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 494,961 | 490,756 |
| 法人税等調整額 | △39,201 | △120,957 |
| 法人税等合計 | 455,760 | 369,799 |
| 当期純利益 | 1,018,540 | 799,538 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,018,540 | 799,538 |

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 1,018,540 | 799,538 |
| その他の包括利益 | | |
| 繰延ヘッジ損益 | △457 | 1,819 |
| 為替換算調整勘定 | 145 | △2,956 |
| その他の包括利益合計 | △311 | △1,136 |
| 包括利益 | 1,018,229 | 798,402 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 1,018,229 | 798,402 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|---------|---------|-----------|------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 378,378 | 308,028 | 3,023,218 | △219 | 3,709,405 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △131,380 | | △131,380 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 1,018,540 | | 1,018,540 |
| 自己株式の取得 | | | | △65 | △65 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 887,159 | △65 | 887,093 |
| 当期末残高 | 378,378 | 308,028 | 3,910,378 | △285 | 4,596,498 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|---------------------|-------------|----------|---------------|-----------|
| | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | △184 | △2,345 | △2,530 | 3,706,874 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △131,380 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | 1,018,540 |
| 自己株式の取得 | | | | △65 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △457 | 145 | △311 | △311 |
| 当期変動額合計 | △457 | 145 | △311 | 886,782 |
| 当期末残高 | △641 | △2,199 | △2,841 | 4,593,657 |

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|---------|---------|-----------|------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 378,378 | 308,028 | 3,910,378 | △285 | 4,596,498 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △199,336 | | △199,336 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 799,538 | | 799,538 |
| 自己株式の取得 | | | | △118 | △118 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 600,202 | △118 | 600,083 |
| 当期末残高 | 378,378 | 308,028 | 4,510,580 | △404 | 5,196,582 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|---------------------|-------------|----------|---------------|-----------|
| | 繰延ヘッジ損益 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | △641 | △2,199 | △2,841 | 4,593,657 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △199,336 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | 799,538 |
| 自己株式の取得 | | | | △118 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 1,819 | △2,956 | △1,136 | △1,136 |
| 当期変動額合計 | 1,819 | △2,956 | △1,136 | 598,946 |
| 当期末残高 | 1,178 | △5,155 | △3,977 | 5,192,604 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,474,301 | 1,169,337 |
| 減価償却費 | 171,398 | 219,801 |
| のれん償却額 | 163,795 | 163,795 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 2,072 | 4,897 |
| 受取利息 | △46 | △44 |
| 支払利息 | 10 | 57 |
| 為替差損益 (△は益) | △559 | 359 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | — | 7,983 |
| 固定資産除却損 | 183 | 124 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △261,295 | △348,005 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 893 | 849 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △39 | △4 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 32,359 | 47,851 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | 94,647 | 115,812 |
| その他 | 15,138 | 15,286 |
| 小計 | 1,692,860 | 1,398,103 |
| 利息及び配当金の受取額 | 46 | 44 |
| 利息の支払額 | △10 | △57 |
| 法人税等の支払額 | △572,595 | △458,164 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,120,301 | 939,925 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △209,612 | △424,911 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △25,011 | △25,602 |
| 投資有価証券の取得による支出 | — | △10,000 |
| 差入保証金の差入による支出 | △140,774 | △22,501 |
| 差入保証金の回収による収入 | 21,727 | 2,014 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △109,658 | — |
| その他 | △240 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △463,569 | △481,000 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | — | 3,335 |
| 長期借入金の返済による支出 | △10,404 | — |
| 自己株式の取得による支出 | △65 | △118 |
| 配当金の支払額 | △131,380 | △199,148 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △141,850 | △195,932 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 1,943 | △2,906 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 516,824 | 260,086 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,719,176 | 2,236,000 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,236,000 | 2,496,086 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、クラウド事業、IT人材事業の2つの事業で事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、「クラウド事業」「IT人材事業」の2つを報告セグメントとしております。

「クラウド事業」セグメントは、クラウド商品群である「楽楽精算」「メールディーラー」「楽楽販売」「配配メール」「楽楽明細」「ブラストメール」等が該当します。

「IT人材事業」は、ITエンジニア派遣を中心とした事業となります。同事業は、Java開発分野とサーバー/ネットワーク分野に特化することによって高度な技術力を提供しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であり、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は第三者取引価格に基づいております。なお、当社グループは、事業セグメントに資産を配分しておりませんが、当該資産にかかる減価償却費についてはその使用状況によった合理的な基準に従い事業セグメントに配分しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 連結損益計算書 計上額 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|---------|----------------|
| | クラウド事業 | IT人材事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,725,819 | 2,017,512 | 8,743,332 | — | 8,743,332 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 79 | 17,813 | 17,892 | △17,892 | — |
| 計 | 6,725,898 | 2,035,326 | 8,761,224 | △17,892 | 8,743,332 |
| セグメント利益 | 1,261,909 | 206,798 | 1,468,708 | — | 1,468,708 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 151,976 | 19,421 | 171,398 | — | 171,398 |
| のれん償却額 | 163,795 | — | 163,795 | — | 163,795 |

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 連結損益計算書 計上額 |
|-----------------------|-----------|-----------|------------|---------|----------------|
| | クラウド事業 | IT人材事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,952,138 | 2,655,903 | 11,608,041 | — | 11,608,041 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 57 | 22,870 | 22,928 | △22,928 | — |
| 計 | 8,952,196 | 2,678,773 | 11,630,969 | △22,928 | 11,608,041 |
| セグメント利益 | 898,255 | 276,213 | 1,174,468 | — | 1,174,468 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 196,625 | 23,175 | 219,801 | — | 219,801 |
| のれん償却額 | 163,795 | — | 163,795 | — | 163,795 |

【関連情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客ごとの売上高が連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客ごとの売上高が連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|-------|-----------|--------|-----------|-----------|
| | クラウド事業 | IT人材事業 | 計 | |
| 当期償却額 | 163,795 | — | 163,795 | 163,795 |
| 当期末残高 | 1,119,272 | — | 1,119,272 | 1,119,272 |

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|-------|---------|--------|---------|---------|
| | クラウド事業 | IT人材事業 | 計 | |
| 当期償却額 | 163,795 | — | 163,795 | 163,795 |
| 当期末残高 | 955,476 | — | 955,476 | 955,476 |

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 50.70円 | 57.31円 |
| 1株当たり当期純利益 | 11.24円 | 8.82円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) |
|-----------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益 (千円) | 1,018,540 | 799,538 |
| 普通株主に帰属しない金額 (千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円) | 1,018,540 | 799,538 |
| 普通株式の期中平均株式数 (株) | 90,607,416 | 90,607,338 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。